

連合
愛媛

2009春季生活闘争 総決起集会

『効率と競争最優先から公正と連帯を重んじる社会へ』

日時：2009年3月8日(日) 10:00～

場所：愛媛県県民文化会館 サブホール

Program

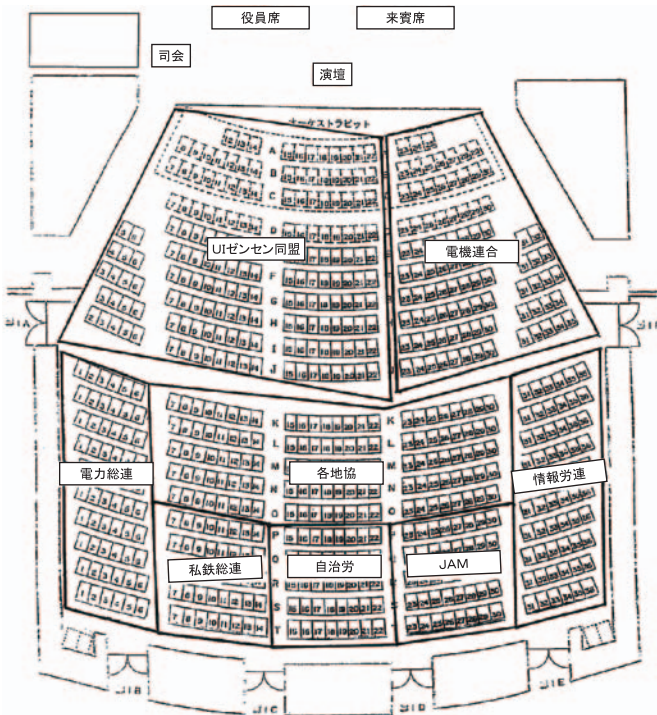
- 9:00～ 担当者集合・準備 役員・青年女性委員会
- 9:20～ 受付 書記・青年女性委員会
- 10:00～ 5分 司会・開会あいさつ 副会長 安河内賢弘
- 10分 主催者あいさつ 会長 木原 忠幸
- 10分 春闘方針説明・情勢報告 事務局長 杉本 宗之
- 決意表明 (3名)
- 5分 ① 民間労組代表
(JAM・TMTマシナリー労組松山支部) 支部長 加藤 元紀
- 5分 ② 地協代表
(中予地域協議会) 事務局長 田井 民夫
- 5分 ③ 官公労部門代表
(自治労・愛媛県本部) 青年部長 菅 之利
- 5分 激励あいさつ 友近 聡朗 参議院議員
- 15分 議員団紹介 各政党・無所属議員団
- 5分 3.8 国際女性デーアピール 女性委員会委員長 大元 佳奈
- 5分 第45回衆議院総選挙必勝決議 政治センター 副委員長 田岡 章
- 5分 総決起集会アピール 青年委員会委員長 清水 貢
- 5分 閉会あいさつ・ガンバロー三唱 副会長 竹森 義彦
会長 木原 忠幸
- 11:20～ デモ行進(全員)出発



日本労働組合総連合会愛媛県連合会

2009春季生活闘争 総決起集会 座席目安表

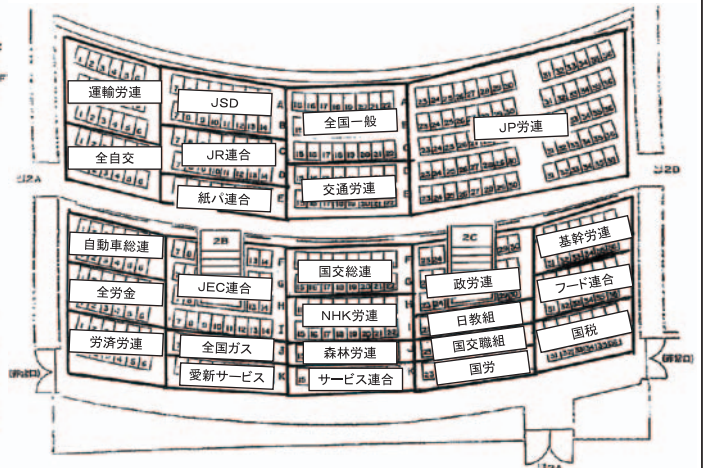
1F



愛媛県県民文化会館
(ひめぎんホール)
サブホール

※下記は、あくまでも目安ですので、
前列から詰めて着席して下さい。

2F



ながく、大きく、
ご家族一人ひとりに、
充実の保障を
お届けします。



ZENROSAI 全労済

家族一人ひとりに、一生つづく大きな安心を。



こくみん共済

個人型国民共済・こくみん共済・国民年金共済・国民健康保険共済・国民生活年金共済

全労済は、営利も目的としない保障の立場として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と命を守るために活動しています。すでに組合員数は全国で1,390万人。お資金をお支払いいただいている組合員には、様々な優待をご用意いたします。

保障のことなら
全労済



あなたにも、
ろうきん。

おまてあたたくくすること、
おまてあたたくくすること、
おまてあたたくくすること、



40年以上、地域の住宅供給に貢献してきた歴史と実績が
愛媛県労住協の社会的信頼です。

愛媛県労住協

安心マンション ロージュ シリーズ

「郊外派」松山市内中心部まで約7分

「都心派」市内中心部天街・大街道まで徒歩約1分

ロージュ土居田 新築可

ロージュ湊町 新築可



ロージュ土居田 現地販売センター
0120-190-335
受付時間/AM10:00~PM5:00(土曜祝)

ロージュ湊町 販売センター
0120-358-571
受付時間/AM10:00~PM5:00

宅地分譲

いつき団地
松山市西江野

生活協同組合 愛媛県労働者住宅協会
089)943-2673
松山市西田町132 愛媛県労働者住宅協会2F

水と空のコラボレーション
「チャペル ドウ リヴァージュ」



ガーデンチャペル 誕生

空・水・緑がテーマの天空のオアシス
チャペル ドウ リヴァージュ ピュアフル松山屋上に誕生

少人数から最大300名様まで、
その他ご予算に応じて承ります。

ピュアフル松山

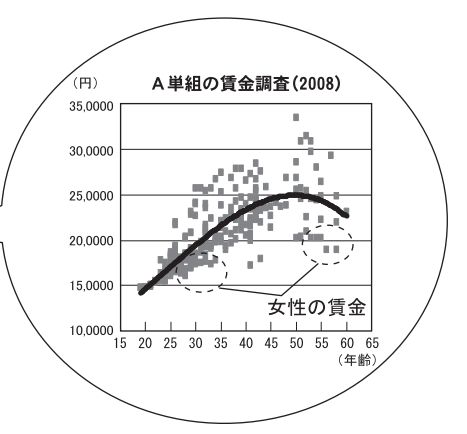
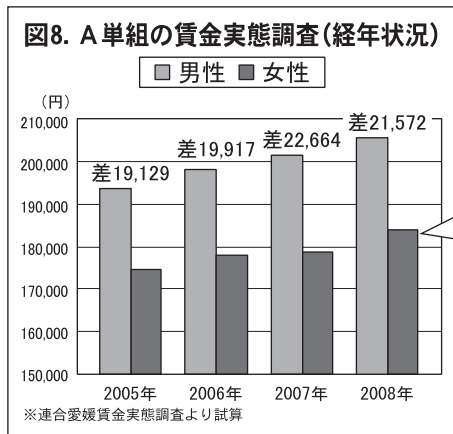
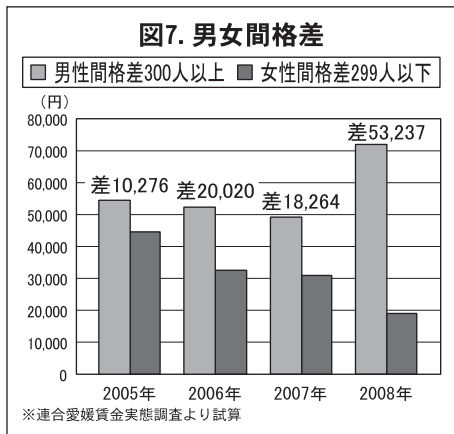
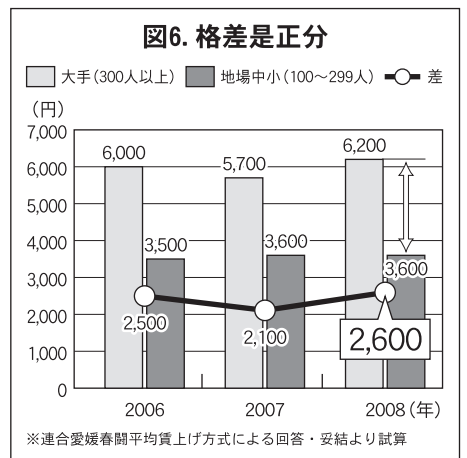
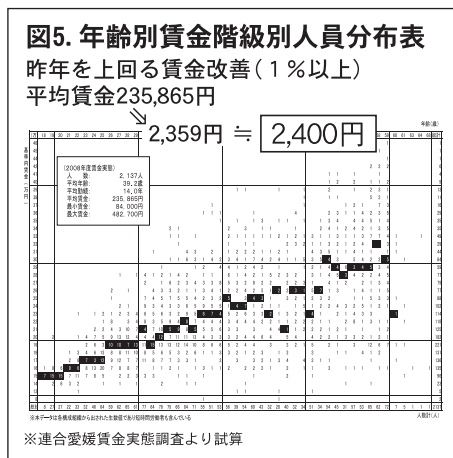
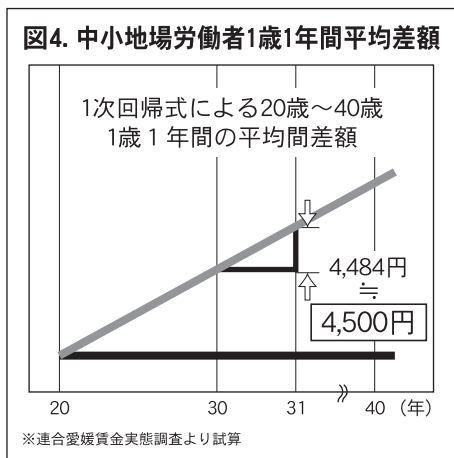
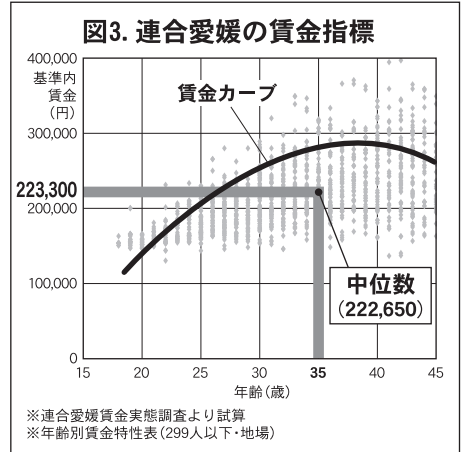
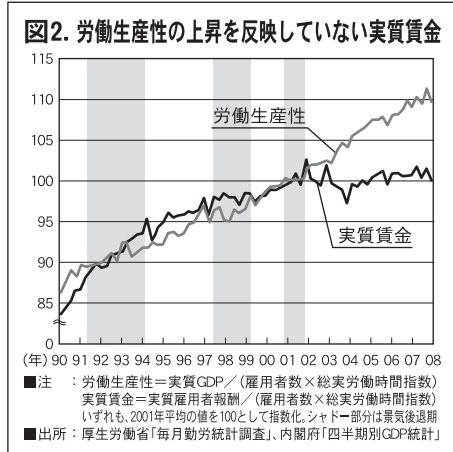
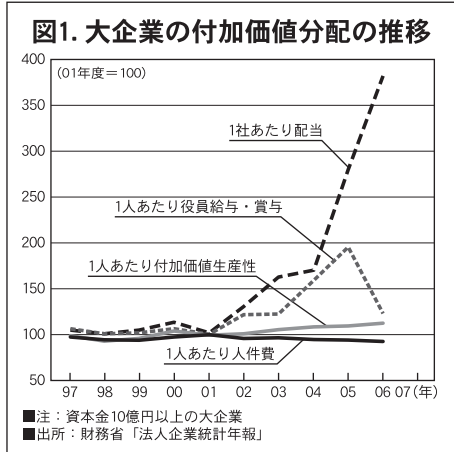
松山市安田町132
089-945-6011
お気軽にお問い合わせください。

「賃上げ」こそが 最大の 景気回復!

地場中小の「底上げ」をめざし、賃上げ要求!

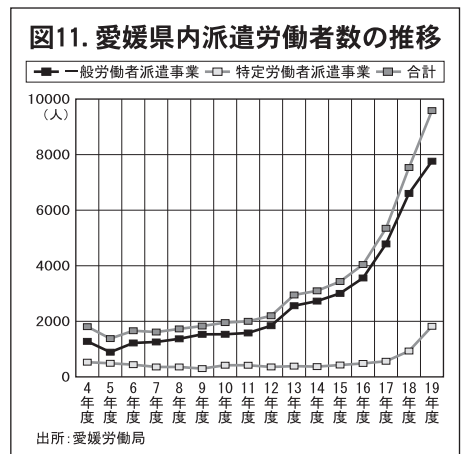
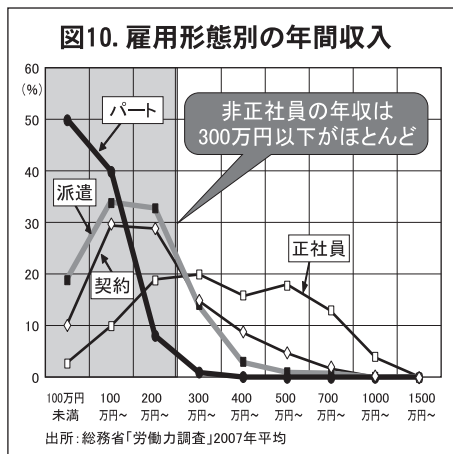
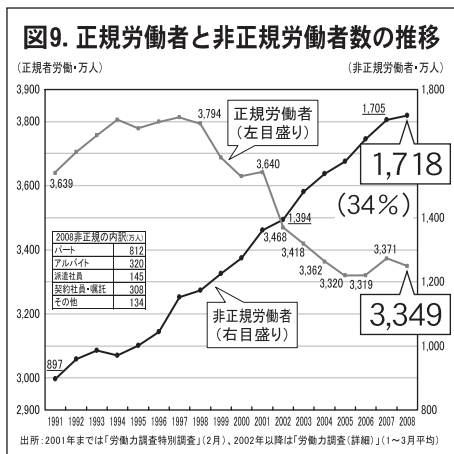
★賃金指標を**223,300**円以上

★**9,500**円(4,500+2,400+2,600)／月以上の引き上げ



★パート労働者等の待遇改善に向けた労使交渉の強化

★**30**円／時以上の引き上げ(パート時給)



ーサブスローガンー

- ① **賃金カーブを維持したうえで**、勤労者の実質生活の維持・確保を
- ② **賃金の「絶対水準」を重視**した取り組み強化を
- ③ 「景気回復」と「生活防衛」の両方を実現するため、**政策・制度との連携強化を**
- ④ **中小共闘、パート共闘の強化**を

3.8 国際女性デーアピール(案)

3.8 国際女性デーの歴史は、150年ほど前にさかのぼります。

1857年3月8日、ニューヨークの被服工場働く女性たちが、低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが起源と言われ、1908年3月8日には、女性たちが賃金改善・労働時間の短縮・参政権を求めて「パンとバラ」を掲げデモを行いました。賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で行動が展開されています。

連合愛媛はこの国際女性デーの趣旨にも基づき、1996年から春季生活闘争の統一行動の一環として全国の仲間とともに松山市駅前での「バラの配布活動」等様々な活動を進めています。昨年と今年の2年間は、ITU Cの「女性のためのディーセントワーク・ディーセントライフキャンペーン」との連携を活動のテーマとしています。

いま、米国の金融危機に端を発した世界同時不況により、私たちの雇用や生活が大きな打撃を受けています。雇用情勢の厳しさに不安の声が高まっている今こそ、労働組合は、すべての働く人の雇用と生活の安定に向け、職場・地域で全力を尽くし取り組みを進めなければなりません。

雇用と生活の安定には、賃金改善をはじめ、労働条件の維持・向上が不可欠です。連合愛媛は2009春季生活闘争の基本方針に「男女間の賃金格差を是正する」、「仕事と育児・介護の両立支援制度の充実・強化に向けた労使協議を促進する」、「改正均等法の定着や改正パート法に基づくパート労働者等の待遇改善に取り組む」をかかげています。職場実態を把握し、性別や雇用形態の違いに関わらず、すべての働く人の労働条件の改善に積極的に取り組みましょう。そして、そのためにも、労働組合の意思決定や労使交渉の

最優先から公正と連帯

場へ、当事者としてより多くの女性の参画を実現しましょう。

労働組合への期待にこたえ、その役割を果たすのは、本集会に参加した私たち一人ひとりです。厳しい時こそ、未来に希望を持ち、私たちの心からの連帯で力を結集し、ディーセントワークが保障されたワーク・ライフ・バランス社会の実現をめざしましょう。

2009年3月8日

連合愛媛2009春季生活闘争総決起集会

第45回衆議院総選挙必勝決議(案)

米国発の金融危機をきっかけに世界的な景気後退が深刻化する中で、日本経済にも大きな影響を与え、内外需とも厳しい状況が続いている。その影響から、派遣労働者の雇止めをはじめ雇用情勢は急激に悪化し、更に拡大が想定される。今ほど政治にリーダーシップが強く求められている時はない。

こうして迎える衆議院選挙は文字通り政権交代をかけた総選挙である。戦後の長きに亘って続けられてきた自民党による中央集権の官僚政治を今後も継続するのか、民主党を基軸とする勢力に政権の交代をはかり、日本に地方主権と政権交代のある民主主義の政治体制を確立させるのかが問われている。

私たちは今、大きな岐路に立たされている。私たちが求めるのは、安心して暮らせる公正な社会であり、情報公開が徹底された透明な政府である。そして、そのことは中央官庁にお願いする政治から、自らのことは自らの意志で決定する政治への転換と同時に、少数の勝ち組優先の政治から、最大多数の幸福を追求する政治への転換を意味する。私たちは内閣の交代があっても、政権交代のない政治は望んでいない。

国民の民意が反映された参議院選挙により与野党逆転となった参議院では、今まで私たち国民に隠されていた問題が明らかにされた。私たちは一人ひとりの力を結集することで政治は変えられることを実感した。

連合はこれまで政権交代可能な民主主義の政治体制の確立を求め、究極的には二大政党的体制の確立をめざしてきた。そして、連合の求める「労働を中心とした福祉型社会」の実現のためには、協働できる政治勢力による政権が必要であり、何としても樹立しなければならない。

いよいよそのときが到来した。安心と安全、公正な社会の実現のための、政権交代をめざして、愛媛1区の「永江孝子」さん、愛媛2区の「岡平知子」さん、愛媛3区の「白石洋一」さん、そして愛媛4区の「高橋英行」さんの勝利に向け、連合愛媛の総力を結集して、全力で戦い抜こう。

以上決議する。

2009年3月8日

連合愛媛2009春季生活闘争総決起集会

『春を重んじる社会へ』

総決起集会アピール(案)

日本の景気回復の鍵は、内需拡大の成否に掛かっている。そのためには、個人消費を回復させ家計の可処分所得を増加させていくしかない。しかしながら、内需の中心となる個人消費は低迷したままであり、政府の第二次補正予算、2009年度予算案では極めて不十分である。

正規・非正規労働者を問わず、われわれの生活は益々深刻化している。企業も雇用を減らし賃金等を押さえ込めば、可処分所得は増えず、景気回復への道は、程遠いものになってしまう。

このような政府や経営者の対応では、景気回復の道筋は見えてこない。こうした考え方を質し、見直しを強く求めていく必要がある。

われわれは、これ以上の失業者を増やさないためにも賃金カーブを維持し、物価上昇に見合うベアによって、勤労者の実質生活を維持・確保することを基本とし、マクロ経済の回復につながる成果配分の実現をめざしていく。

われわれ連合愛媛の具体的賃金要求額として、賃金カーブ維持と賃金改善・格差是正を含め、9,500円以上のミニマム要求を提示し、物価上昇に見合うベアを獲得するとともに、中小企業労働者、非正規労働者等あらゆる労働条件格差の是正と底上げをめざしていく。

一方、適正な労働法制確立に向けて、「日雇い派遣」の禁止など労働者保護の視点での労働者派遣法の改正、時間外労働の割増率を引き上げる労働基準法の改正、障害者の適切な処遇改善等に向けた障害者雇用促進法の改正、非正規労働者の雇用確保・安定化の推進に向けた雇用保険法改正等、全構成組織をあげて、雇用・労働分野におけるセーフティネットの整備をめざす。

連合愛媛は、「まじめに働く者が報われる『公正・公平・安心な社会』実現」のために、最後まで共に闘い抜くことをここに誓い合う。

「STOP! THE 格差社会」に向け、『効率と競争最優先から公正と連帯を重んじる社会へ』を合い言葉に、暮らして春の風を呼び込もう！

2009年3月8日

連合愛媛2009春季生活闘争総決起集会

《各梯団(ブロック)構成》

第1ブロック U I ゼンセン同盟・地協

第2ブロック 情報労連・JP労組・NHK労連・JR連合・全自交・国公総連・全国ガス・全労金・労済労連

第3ブロック 自治労・JAM・全国一般・自動車総連・運輸労連・交通労連・基幹労連・JSD

第4ブロック 電機連合・電力総連・私鉄総連・紙パ連合・JEC連合・フード連合・政労連・森林労連・日教組・サービス連合・国税・国交職組・国労・愛新サービス